

私は富士見町が大好きです。これこそが私の原点です。

名取重治町長 2期目就任のご挨拶



2期目の就任にあたって私の富士見町に対する想い、町政に対する基本的な考えを町民の皆さまにお伝え致します。

私は西山地区の木之間に生まれ育ちました。私の家から入笠山に登る林道の途中にとっても良い場所があります。

雄大な八ヶ岳を正面に見ながら、裾野に広がる富士見町全体を見渡せます。その景色を見るたびに富士見町に住んでいる幸せを強く感じて参りました。

●町のすべてに限りない愛着を

私は富士見町が大好きです。これが私の原点になります。

私は富士見町の自然環境はもちろん、その中で暮らす人々にも、またその人々が紡いで来た地域の歴史や文化や風土にも、すべてに限りない愛着を持っています。

この素晴らしい町を今よりもっと住みやすい町にしたい、自慢のできる町にしたいという強い想いを持って、これまで町政を担当して参りました。これからも想いは同じでございます。

●今の事業を基本的には継続

1期目の4年間、後半はコロナ禍に翻弄されましたが、掲げていた施策については着実堅実に成果を出してこられたものと考えております。

したがって、住民の皆さまに対する行政サービスのレベルは確実に高まってきているものと思っております。

ですから、今成果を出している事業は基本的には継続し、発展させて参ります。

そのうえで、新しい政策を加えていきたいと思っております。

●人口減少対策に注力

今の町の課題は、何といっても少子高齢化・人口減少への対応です。

子どもが減り、人口が減少するとどうしても町の活力が低下してしまいます。きめ細かな子育て支援や教育施策をさらに充実させ、子どもを育てやすい環境を整えて参ります。

また、移住定住促進施策を更に強力に進めます。

特に、富士見町出身の皆さんに積極的にUターンを呼びかけたいと思っております。

根本的には、行政レベル全体をバランスよく地道に引き上げて行くことが一番だと思います。地味ではありますが、このことが人口減少対策につながるって行くものと考えています。

このところ人口の減少数が減ってきています。

ありがたい傾向です。この傾向を着実なものにしたいと考えています。



●まずはコロナ対策

2期目に向けては、まずはコロナ対策です。感染の拡大はそう簡単に落ち着きそうもありません。

感染拡大防止、着実なワクチン接種、そして落ち込んでいる社会・経済対策に全力を尽くして参ります。

そしてコロナ後に向かつては「攻めの町政」へ打って出たいと思っております。

町民の皆さまの声をこまめに吸収し、多くの町民の皆さまと意欲ある町職員の知恵と力を結集しながら、よりよい町づくりに向けて誠心誠意取り組んで参りますので、どうか更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

